

## 子どもたち一人一人の伝え合う力を高める研究 ～「話すこと・聞くこと」の活動を通して～

### I 研究の内容

#### 1 研究の見通し

「話すこと・聞くこと」に焦点をあてて、その基礎を身につけることや表現の機会を意識的に設けることにより、子どもたちの伝え合う力は高まるであろう。

#### 2 研究の内容・方法

- (1) 「話すこと・聞くこと」の基礎や、「豊かな表現力（話すこと）」についての理論研究
  - ・ 学習会を行い、共通理解を図る。
- (2) 「話すこと・聞くこと」について、児童の意識調査・教師の見取り・各種テストの分析
  - ・ 児童の意識調査や教師の見取りなどから課題を明らかにすると共に、子どもの変容をとらえて、次につなげていく。
- (3) 「話すこと・聞くこと」を身につけさせる指導を工夫した授業や活動実践
  - ・ 低・高学年1本ずつの授業研究を行うとともに、一人一実践をする。
- (4) 「話すこと・聞くこと」の意欲を高める場の工夫や言語環境の整備
  - ・ 学校生活のあらゆる場面を通して「話すこと・聞くこと」の向上を支えていけるような、環境作りに取り組んでいく。

#### 3 実践内容

##### (1) 学習会

「言語活動の充実」と「話すこと・聞くこと」の指導

山梨県義務教育課 重田 誠指導主事

##### (2) 意識調査

内容：「話すこと・聞くこと」、「生活習慣・学習規律」

時期：6月と12月

##### (3) 授業研究と一人一実践

〈授業研究〉

指導助言 峡東教育事務所 宮澤 洋一指導主事

第1学年 国語科「おはなし きいて」

授業者 平山 沙織教諭

第4学年 算数科「計算のやくそくをしらべよう ～けいさんのきまり～」

授業者 古屋 岳治教諭

〈一人一実践〉

第2学年 国語科「あったらいいな、こんなもの」

授業者 小河真由美教諭

第3学年 算数科「九九を見直そう」

授業者 土屋 弘美教諭

第5学年 国語科「千年の釘にいどむ」

授業者 大村 健一教諭

第6学年 国語科「今、わたしは、ぼくは」

授業者 飯島 典子教諭

たんぼぼ学級 道徳「へこたれない」

授業者 金子佐由美教諭

#### (4) 言語環境の整備

- ア 掲示物（「聞き方あいうえお」「話し方かきくげこ」・4つの約束・声のものさし）
- イ 活動の場の工夫（始・終業式の各学年の発表、各集会での感想発表等）
- ウ あいさつの習慣化
- エ 読書習慣の定着（朝読書・年3回の読書旬間）

## II 成果と課題

### 1 成果

- ・昨年度の理論研究をふまえて、今年度は授業実践と日常の活動の両面から子ども達の「話すこと」「聞くこと」について検証し、研究を深めることができた。国語に絞らず、様々な教科や場面で伝え合うことを意識することができた。
- ・学習会では、理論研究が深まり、新学習指導要領で求められている力をつけるために具体的な手立てを考えることができた。「話すこと・聞くこと」の捉え方、「具体的な力」はどのような活動につながるか、発達段階でどのようにかわっていくか等、学習を深めることができた。
- ・児童の実態調査、教師の見取りにより、次に何を目指すべきか、どんな手立てをするべきか見通しが立った。また、2回の意識調査で児童の意識の変容を見取ることができた。また、教師の見取りだけでなく、意識調査をすることで、話すことや聞くことについて、客観的な見方で児童の姿を捉えることができた。
- ・場の工夫や環境整備で研究してきたことを授業の中で検証できた。2つの研究授業を通して、児童の実態に応じた指導の工夫がいかに大切かと言うことがよくわかった。話す場面を意図的に多くすることで思考も伝え合う力も高まり、相乗効果が見られた。
- ・全体場で話すことの手立てを多く作ることで、集団を前に話すことが特別なことではなくなった。また、人前で自分の考えや意見を言うことで発表者一人一人の力を伸ばすことができた。さらに、いろいろな場面で様々な児童が互いに聞き合うことは「話す」という経験だけでなく、子ども達同士の相互理解にもつながった。
- ・「聞き方あいうえお」「話し方かきくげこ」は、話し方や聞き方のポイントを授業や生活の中で、その時その時に意識させるのに役立った。一目（一文字）で内容が連想でき、指示が短く終わり、子ども達に理解しやすいものだった。

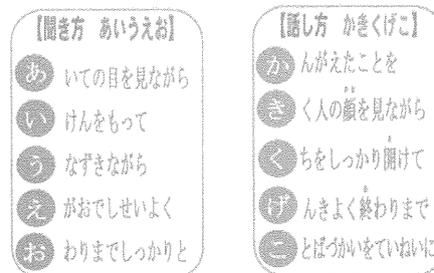
### 2 課題

- ・各種調査を通して、本校児童の実態が多角的に明らかになった。今後、足りないところをどの様に改善していくのか、よく考え協働して実践していく。
- ・継続することが大切であり、学年の系統性や具体的な手立て等については、まだ研究を深めていく必要がある。

## III 成果物

### ○言語環境を整える掲示物

「聞き方あいうえお」「話し方かきくげこ」  
4つの約束 声のものさし



（研究主任 小河真由美）